

★★★ 追手門学院大学主催 シンポジウム ★★★

中国上海 国際都市の光と陰 日本企業は今

— 中国経済を知ると日本が見える —

発展著しい中国・上海。日本企業の中国シフトが加速する中でのビジネスの成功と失敗例、成長する上海とその他地域の経済バランス、中国全体の貧富の差をテーマに中国駐在の経験豊かな企業人が、これからの日本の歩む道を考えます。

日時

2011年10月15日(土)
13:30~15:30

場所

大阪府茨木市
男女共生センター ローズ WAM

[主催] 追手門学院大学

[後援] 茨木市、茨木市商工会議所、
NPO国際社会貢献センター

参加無料
申込不要

シンポジスト

武 一彦氏 [上海卓多姿中信化粧品有限公司 前・董事総経理]
北條 弘司氏 [美能達国際貿易(上海)有限公司 元董事長・総経理]
喜多 忠文氏 [広東松下エコシステムズ(有) 元社長]

コーディネーター

水野 浩児氏 [追手門学院大学経営学部 准教授]

中国上海 国際都市の光と陰 日本企業は今

— 中国経済を知ると日本が見える —

出演者のご紹介

シンポジスト

武 一彦氏 [上海卓多姿中信化粧品有限公司 前・董事総経理]

1978年株式会社資生堂入社。2006年エフティ資生堂海外営業GLとして中国台湾窓口を担当後、上海卓多姿中信化粧品有限公司董事総経理。2011年帰国後、人事部非常勤就任。

北條 弘司氏 [美能達国際貿易(上海)有限公司 元董事長・総経理]

1963年ミノルタカメラ株式会社入社、新製品試験・商品開発担当の後、1989～1995年ミノルタ(株)在外現地法人 Minoltaイタリア社 社長。1997年美能達国際貿易(上海)有限公司 董事長・総経理。2003～2004年(財)大阪産業振興機構中小企業支援ナビゲーター。

喜多 忠文氏 [広東松下エコシステムズ(有) 元社長]

1970年松下精工(株)入社、本社情報システム部門へ配属。1998年松下精工香港国際製造(有)副社長。2000年広東松下エコシステムズ(有)社長、2005年退職。2011年より(社)日中経済貿易センター 華南アドバイザー。

コーディネーター

水野 浩児氏 [追手門学院大学経営学部 准教授]

1991年株式会社南都銀行入行。総合企画部・大阪支店長代理。2005年追手門学院大学講師(民法)、2010年より追手門学院大学経営学部准教授。

会場へのアクセス

大阪府茨木市立 男女共生センター ローズWAM

〒567-0882 大阪府茨木市元町4番7号

TEL:072-620-9920

アクセスマップ



- 阪急茨木市駅西へ徒歩5分
- JR茨木駅東へ徒歩10分

国際交流推進年について

本学は、1970年からインドのグジャラート大学と、1980年からオーストラリアのグリフィス大学との学生交換制度を始めました。2010年は、グジャラート大学と40周年、グリフィス大学と30周年を迎えました。また、2011年は大学開学45周年の年にあたります。

これを記念して2009～2011年の3年間を「国際交流推進年」とし、国際化理解と国際交流の推進・強化を図るべく「OTEMON TO THE WORLD」をキャッチフレーズに掲げ、大学の、また学生生活の国際化を進めています。

2010年度は、上海万国博覧会の日本産業館JALステージにおいて本学学生やPTA団体が中心となり、約1週間ステージパフォーマンスを行いました。また10月から12月にかけてはインド、オーストラリアの文化紹介として伝統音楽・舞踊、記念講演会等を開催しました。

マークについて

青い球体は世界(地球)をモチーフとしており、その周りを包む三連のリボンによって、国際交流推進年が3年間で行われることを表しています。また、2011年のリボンが斜め上に向かって伸びており、これには国際交流推進年をきっかけに、追手門学院の国際化における更なる発展が実現するよう願いが込められています。



国際交流推進年